

問

代表・一般質問を平成15年12月1日・2日・3日に開会した第4回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行に当たる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。

以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党



中島 勇 議員

区政透明化計画について

【問】15年8月に足立区政透明化計画が策定された。現在までの取組み状況はどのようになっているのか。合わせて、17年度に全国トップレベルの透明度を目指すとしているが、トップレベルの判断はどがどのようになり、また、そのための進行管理をどうしていくのか伺う。

【答】区政透明化計画の取組みに先立って15年7月から基本構想審議会の傍聴や議事録のホームページ掲載など、全面公開で開催している。また、9月には「公有財産の活用構想」にパブリックコメント制度を第1号として適用し、他の施策にも導入していく。目標実現のためには、全部署で透明化施策を実行し、説明責任を果たしていくことが必要である。トップレベルの判断は、区民の評価によると考える。少年犯罪の現状について

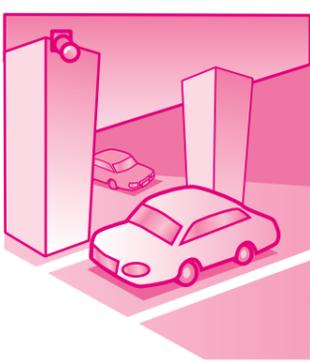
【問】当区の少年犯罪は、逮捕される被疑者の7割が子どもである。これは、社会的な規範が揺らいでいるからである。子どもに社会的規範を身につけさせるためにどうすべきか。また、罪を犯させない、巻き込まれないようにするための具体的な取組みについて考えを伺う。

【答】社会的規範を身に付けるためには、社会の中で、多くの人とかわりながら、付き合い

方を学び、社会の一員としての意識を形成することが重要と考える。また、警察署など関係機関との連携により、子どもを対象とした「犯罪防止教室」の開催などをしていく。

【問】道路、公園、駐車場などには、繁茂した樹木や塀などで死角をつくらない。また、財産が侵害された場合は、きちんと被害届を出して黙認しない。このような防犯の視点をまちづくりに取り入れ、犯罪を抑制していくべきと思うが、どうか。

【答】公園等で死角の有無などの点検調査を行った。この結果を踏まえ、施設配置や樹木の剪定など安全性の確保を図っていく。駐輪場の防犯カメラは、15年度中に全ての区営有料駐輪場に設置予定である。破壊行為に対しては、即時に被害届を提出し、警察との連携に努めていく。



【問】区全体で区内経済の活性化に取組んでいる事は評価する。この活性化策を進める上で基本となるものとして産業基本条例がある。

現在、基本構想の改定作業をしているが、この改定を見据え

て産業基本条例を見直す必要があると聞く。産業基本条例の見直しの意義は何か。

また、基本的な考えは何か。

【答】本条例は、現在のあだち産業プラン策定に合わせ、区長の責務を明示するなど平成12年に一部改正が行われた。

今回の基本構想は、区民との協働により策定が行われており、区政推進の基本理念である基本構想の策定に合わせ、産業振興基本条例についても合わせて改正を検討している。

基本的な考えとして、区内経済活性化の視点も取り入れたものにすることを検討している。

【問】旧本庁舎跡利用については、プロポーザル方式による最優秀案が進められている。しかし、建物に設置される駐車場の変更をはじめ、当初の計画が変更されている。今後当区のランドマークともなるべき22階建てビルにしては心もとないと言わざるを得ない。開設後の来客の実態等を勘案し、抜本的な解決策を考えておくべきと思うが、区長の見解を聞く。

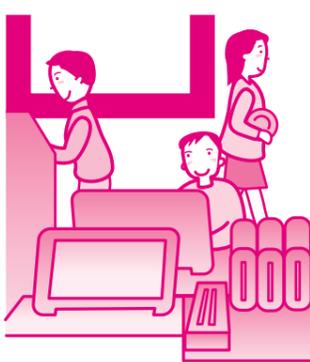
【答】この度の計画概要では、駐車場の必要台数は、付置義務台数で充足されるとしている。しかし、区としてもイベント展示ホールへの車での利用者数等の不確定な要素もあり、旧千寿小学校校庭に約40台収容の暫定駐車場を設置することにした。

デジタルファクトリーについて

【問】旧本庁舎跡利用計画の核とされているデジタルファクトリーの具体的な施設は、現時点でどのようなものか具体的に示

された。

【答】事業者の総合商事(株)は、デジタルファクトリーの1施設として(仮称)黒澤明 デジタル映像スタジオの導入を予定している。施設概要は、デジタル映像コンテンツ制作の場、映像芸術としての映画を伝承する場、足立区から映像文化を全国に発信することを考えている。規模は1千500㎡となっている。



【問】特養ホームの増床計画について

【答】特養ホームの入所希望者は1千700人を越え、入所まで2、3年待ちの状況であると聞く。第2期介護保険事業計画では、平成19年度までに約600床の増床を図るとしている。この特養増床計画の進捗状況を伺う。

また、優先入所システムを実施すると聞くが、優先度が低いとされた方の対応と、システムの概要を聞く。

【答】イーストピア東和で平成16年度に47床増設される。その他、上沼田地区の150床以上の計画を含めて計5箇所、約400床の施設整備を都と協議している。

優先入所システムについては、要介護度、介護者の状況等ケアマネージャーの意見書等を総合的に判断するもので、区と施設長で構成される「入所検討委員会」で一元的に優先度を付けた名簿を作成し、入所を決定する。

なお、優先度が低いと判断された方には、福祉事務所、在宅介護支援センター等とも連携し、代替策等の助言をしていく。

【問】痴呆性高齢者の入所施設として、痴呆性グループホームの整備が有効だが、入所費用が15万円程度必要であり、所得の低い区民は利用しにくい。

低所得者対策も含めて今後の整備状況について伺う。

【答】平成19年度までに446床の目標をたてている。15年度末までに10施設188床が整備される予定である。

また、安い家賃で提供すること、入居一時金を取らないことなど指導している。そのための、国や都の補助制度の活用等も助言している。

【問】地球温暖化対策について

地球温暖化対策を考える際、一番大切なことは家庭や企業が日常の活動の中で取組みをすることであり、温室効果ガスを発生しないエネルギーの活用を考

えることが大切である。

区は、小型雨水貯留槽の設置補助や住宅用太陽光発電システムの融資及び補助制度の導入によって新エネルギーの普及をしようとしているが、自宅用だけでなく拡充を図るべきと思うが、いかがか。

【答】現在進めている住宅用の太陽光発電システムの導入支援制度と併せて、集合住宅や小規模事業者への導入支援についても積極的に検討していく。

【問】千寿第三小学校の改築がPFI手法から従来手法に変更になった。今後、次々と校舎の改築時期を迎えることになるが、どのように対応していくのか。

今後の学校改築にPFI手法を取り入れていくのか。

【答】昭和30、40年代に建設の学校が改築時期を迎える。この改築需要に対し、今後の新基本構想の策定を待って、改築の手法や財政フレームについて関係各課と協議を進めていく。今後は、PFI手法、従来手法と組み合わせるなど工夫をしていく。



馬場 信男 議員

子どもを取り巻く環境について

【問】先の衆議院議員選挙戦で、各党が示した「マニフェスト」の中で争点になっていたのが社会保障制度であった。我が自民党も、一番に取り上げたが、その抜本改革の中で、「待機児童ゼロ作戦」をあげている。そこで伺う。区内の待機児童数の推移はどうか。解消への進み具合はどうか。

【答】待機児童は平成13年4月は380人、14年4月は351人、15年4月は302人と推移している。待機児解消として、認証保育所の誘致、家庭福祉員の増員等を積極的に進めている。

認証保育所は、現在A型5園、B型8園が開設し入所率94.3%で、16年度にはA型2施設、B型1施設の新規開園を予定しており、合計79名の定員増を考えている。

産業支援について

【問】経済環境の厳しい時期、企業は本業・得意分野で勝負すべきだが、足立区における得意分野として皮革産業と焼肉関連